

専門課程シラバス

科目区分	専門基礎分野	単位数・時間数	単位 1 ・ 時間24	開講時期	1年・ 後期
授業科目名	治療論Ⅲ(臨床薬理学)			授業形態	講義
担当教員	川崎 美紀・中村 光宏		実務経験	○(薬剤師)	
授業概要	薬理学の基礎知識と薬物療法について学び、薬物療法を受ける患者に対する看護師の役割と、安全対策を学ぶ。そして、薬物の人体へのはたらきと生体側の対応を理解し、疾患の原因をとらえ原因を除去するための薬の使用と作用を理解する。				
学習目的	薬理学の基礎的知識と薬物療法を学ぶ。薬理作用・副作用を医薬品の安全対策とあわせて理解し、薬物療法を受ける対象への看護の実践に必要な知識を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.薬物使用の目的が理解できる。 2.薬が作用するしくみが理解できる。 3.薬の体内動態が理解できる。 4.チームによる薬物治療と看護師の役割が理解できる。 5.薬物療法における看護が理解できる。 				
授業内容	<p>1・2 薬理学を学ぶにあたって 薬理学の基礎知識</p> <p>3・4 抗感染症薬</p> <p>5・6 抗がん薬、免疫治療薬</p> <p>7・8 抗アレルギー薬・抗炎症薬</p> <p>9・10 末梢での神経活動に作用する薬物</p> <p>11・12.中枢神経系に作用する薬物</p> <p>13・14 循環器系に作用する薬物</p> <p>15・16 .呼吸器・消化器・生殖器・泌尿器系に作用する薬物</p> <p>17・18 物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬</p> <p>19・20 救急の際に使用される薬物</p> <p>21・22 漢方薬、消毒薬</p> <p>23・24 輸液製剤・輸血剤</p> <p>終講試験</p>				
評価方法	筆記試験				
教科書	系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進(3) 薬理学 第15版第7刷 医学書院 2025				
参考図書 等					
備考					